

うさぎぐみだより



まだ5月にもかかわらず、テレビからは真夏日、猛暑日という言葉が聞こえてきます。今年の夏を越せるのだろうか？と不安に思うほど、強い日差しに高い気温の日もありますが、うさぎ組では毎日にぎやかな声が響いています。すっかり幼稚園生活にも慣れ、朝の準備や降園準備、手洗い・うがいなどにも自分から取り組めるようになってきました。まだまだ忘れてしまっていることもありますが、自分ですることが少しずつわかってきた証拠ですね。小さくても自分でできることが増える、嬉しい成長です。

泥んこ遊び

いよいよ、泥んこ遊びが始まりました。おうちの方は泥だらけの服を見て、びっくりされたのではないのでしょうか…。服は驚くほど泥だらけになります。全身で遊びを楽しんでいる姿にはなんとも言えない可愛さがあります。本当に心も体も解放されてのびのびと良い表情をしているのです。

同じ泥んこ遊びでも、楽しんでいるところは子ども達一人一人違います。水をたくさん汲んで流すこと、ウォーターライダーのように築山の上から水を流すこと、温泉をつくること、温泉に入ること、ドロドロ・ペタペタの感触、湿った土を使ってごちそうをつくること、できたお団子やハンバーグを並べてお店屋さんのようにして遊ぶこと、ドロドロを集めてホットケーキをたくさんつくること…。それぞれがそれぞれにしたいことをして遊んだり、友達がしている楽しそうなことや気になることを真似してみたり一緒にしてみたりしています。ぞう組の遊ぶ様子をじっと見ている姿もあります。

色々試しながらたくさん遊んで、泥んこ遊びの楽しさを存分に味わえるようにしたいと思っています。毎日のお洗濯は本当に大変だと思いますが、子ども達の笑顔のためにどうぞよろしくお願ひします。



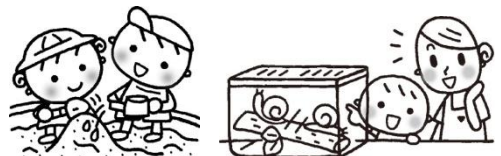
生き物大好き！



今年のうさぎ組の子ども達には日々驚かされるほど、生き物が大好き！です。テラスから花壇に頭を突っ込んで虫探しをしていることも多々…。そして次から次へと捕まえた生き物(ダンゴムシ、てんとう虫、カタツムリ、青虫、チョウチョ、カエル…おまけにナメクジまで!)が保育室にやってきます。自然に恵まれた園和北幼稚園の環境がぴったりですね。

今は保育室に、ダンゴムシとカタツムリを飼育しています(カメのカメ子とカメ吉も元気です!)。みんなでダンゴムシやカタツムリの絵本をたくさん読むことで、物知りにもなってきましたよ。ダンゴムシは実はカニやエビの仲間だった!と知った時にはお騒ぎになりました。

これからも「知りたい」という子ども達の思いを逃さず大切にしていきたいと思ひます。





いろいろつくっているよ

クラスみんなの活動では、はさみやのりを使った制作にも取り組んでいます。

ミートソーススパゲッティ

パスで麺をかき、絵筆を使ってミートソースに見立てた絵の具を塗りました。次に、初めてのはさみを使った活動として、お肉に見立てた画用紙をチョキンと1回切り、ニンジンとピーマンに見立てた画用紙をチョキチョキと2回切りにしました。最後は、頑張っって切ったお肉、ニンジン、ピーマンをのりで貼って出来上がり！気分はまるでコックさん、の子ども達でした。

そらまめくん

園で育てたソラマメを収穫し、食育で塩ゆでにしたソラマメを食べ、ふわふわベツも触った子ども達とソラマメをつくりました。今回子ども達が頑張ることは画用紙にかかれた線に沿って丸く切ること！手を切らないように、真剣に取り組みます。できた豆をサヤに貼ってマーカーで絵をかいている時には、「○人家族にしよう」「○人きょうだいにしよう」「お友達が遊びに来ているところにする」と声が聞こえました。一つ一つの豆に顔がある、サヤが顔になっている、豆が部屋になっていてそれぞれ住んでいる…一人一人違ったイメージが絵に現れていて、見ているだけで楽しい気持ちになります。



目と目を合わせる

お弁当のあとはゆったりできるように、ドミノや積み木、パズルなどを準備しています。つい先日、とても素敵なエピソードがあったのでご紹介しますね。

お弁当を早く食べ終わったTくん、Yくん、Hちゃん、Iくんがそれぞれドミノをして遊んでいました。そこにお弁当が終わったTくんがその場に入ろうと「いーれーてー」と声をかけました。遊んでいた4人はすぐに「いいよ」と声をかけるのですが、Tくんはまた「いーれーてー」と声をかけています。そして「いいよ」のやりとり。「いいよ」って言うことに気付いてないのかな？と思いながら様子を見守っていると、同じやりとりがもう一度続いたあと、Tくんは何も言わず、すぐ近くにいるYくんとTくんの側で遊び始めました。でも、その場所がとても狭かったのでTくんは「あっちでやってくる」と言い残して、すぐにHちゃんの方へ移動します。

もう一度「いーれーてー」とHちゃんの近くで言うと、その声を聞いたHちゃんは自分の手を止めて、Tくんの目を見て「いいよ」とにっこり笑いながら言ったのです。それを見てTくんはものすごく嬉しそうに笑顔で「うん」とHちゃんの隣でドミノを始めました。

このやりとりを見て、本当のコミュニケーションってこういうことだな、と子ども達の姿から感じました。やっぱり人の目を見て言うことは大切なんだ、目と目を合わせるからこそ伝わったんだ、と思いました。人と人が向き合うってこういうことですよ。HちゃんとTくんには、このやりとりを見て感じたこと、とても素敵な姿だったことを伝えました。その時の二人は少し照れくさそうに笑っていました。こんな風に、子ども達の素敵なかかわりを大切に、そしてその嬉しさを子ども達も教師も一緒に喜び、共感したい！おうちの方とも共有したい！と思っています。おうちの方が見つけられた素敵なエピソードもぜひぜひ教えてください。